

コーチングコミュニケーション研修に参加して

相模原病院 早川 史織

私は大学院修士課程卒業後、国立国際医療研究センター病院(763床、43診療科)で非常勤薬剤師として1年、薬剤師レジデントとして2年、常勤薬剤師として7年、合計10年間勤務し、このたび平成31年4月に相模原病院の主任薬剤師に昇任しました。経歴の通り、大きい病院での下積み期間が長かったため、薬剤師としての経験年数に比して、下の世代を指導する立場としての自信には、やや不安な気持ちがありました。

コーチングコミュニケーション研修は、コミュニケーションスキルとしてのコーチング及び管理業務の基本知識を習得させ、後輩に指導できるなどの中堅薬剤師たる資質を有する人材の育成を目的とする研修ということで、まさしく自分にとって必要な研修であると感じました。今回、研修の機会を与えられ、参加することができましたのでご報告致します。

研修期間は1日間で、講義とグループワークが中心の研修でした。グループワークでは、とある事例についての問題点と解決策についての討議や、ショートロールプレイなどを実施しました。

私は学生時代にコミュニケーション論を学ぶ機会があったため、その時に勉強した内容とコミュニケーションスキルに関しては似通った部分があると感じました。しかし、今回は組織で働くということ、その中での円滑なコミュニケーションとコーチングについての研修でしたので、その点において、より深く勉強することができました。今まで仕事の中で所謂、報・連・相が重要であるということは理解していましたが、それができないことによって、組織において具体的にどのような問題があるのか、など掘り下げて考えることはあ

まりなかったように思います。それが、グループ討議で参加者が意見を出し合ってみると、様々な想定が必要であることがわかり、普段からどのような体制作りが必要なのかを考えることができました。

ロールプレイでは、指示の出し方や報告の受け方など、具体的な状況を想定したロールプレイを実施しました。実際にやってみると「これはもっとこうすればよかったかな？」と思うこともあり、実践はそう簡単ではないと感じました。一方で、そのようにロールプレイをやってみることで、注意点に気づくことができたのが良かったと思います。

近年、薬剤師の仕事はより対人業務に重きを置くものになってきていると感じます。その中で重要になってくるのがコミュニケーション能力ですが、これは对患者だけでなく、スタッフ間でのコミュニケーションも大切です。しかしながら、薬剤師に対するコミュニケーションに関する研修は、現在まだあまり実施されておらず、このような研修を受ける機会はなかなかありません。国立病院機構で、このような研修の機会を設けていることは非常に画期的であると感じます。特にコミュニケーションについて学ぶ機会がなかった方にとっては、とても参考になる研修であるはずで、私自身、今回とても良い研修を受けることができたので、研修の成果を効果的に使いこなし、周りの人材の育成につなげていきたいと思っています。

最後に、今回このような研修会を開催して下さった関信地区国立病院薬剤師会と、日々の忙しい業務の中、研修会への参加にご協力下さった相模原病院薬剤部の皆様にお礼申し上げます。